

2018年5月22日

医療経営論⑥

医療経営の実際を考える(1)

担当

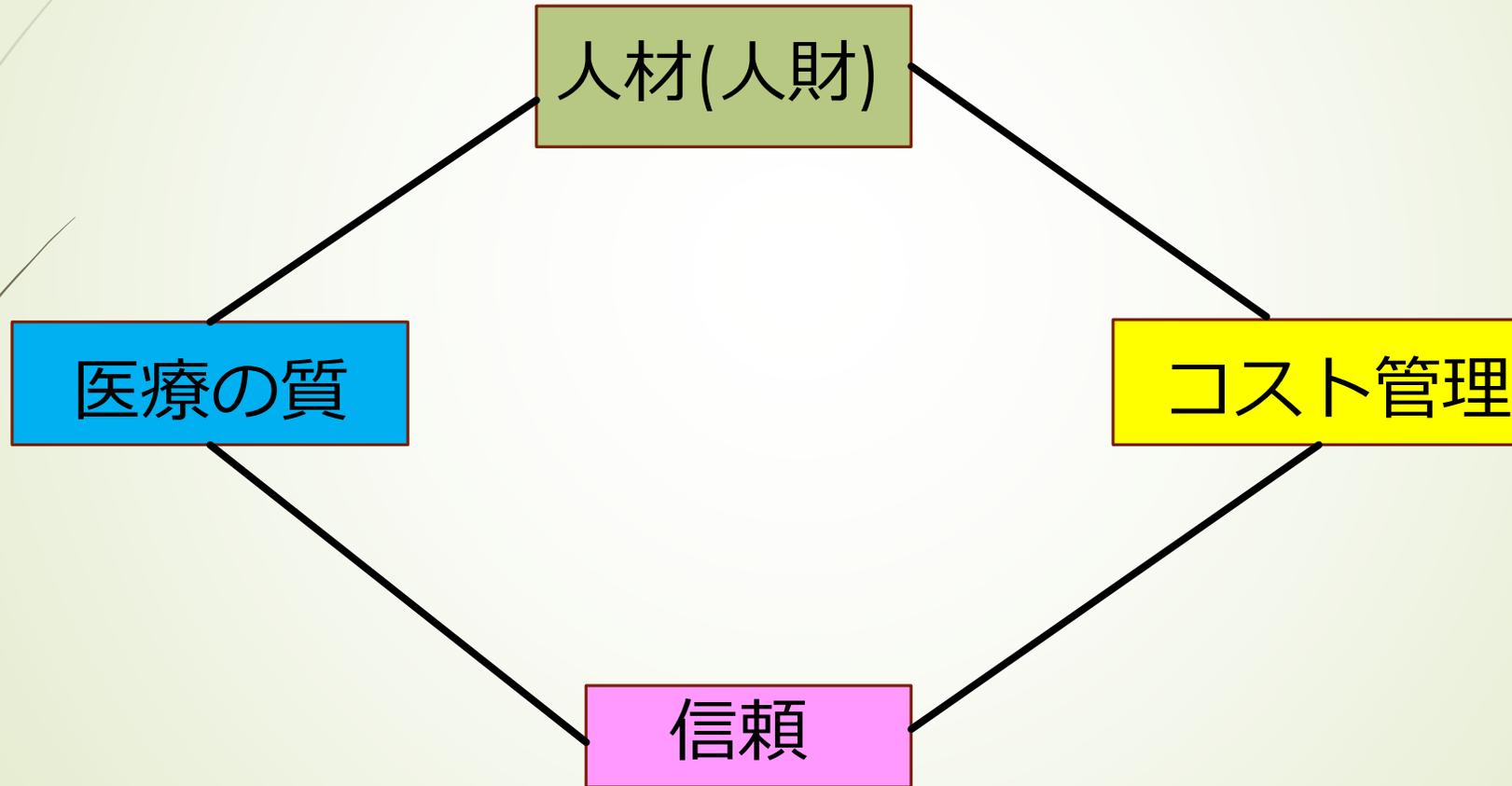
安川文朗



今日の講義のゴール

1. 医療経営を考える際の基本的柱を知る
2. 事例から4つの柱の意味を理解する

医療経営を考える基本的柱





人材(人財)

優れた医師や看護師、事務系職員などの確保・育成、適切な人事管理の実施など

医療の質

治療の成果、入院の快適性、サービスの即応性、地域のニーズへの適切な対応など

コスト管理

高収益/適正費用を実現するマネジメント戦略、大胆な経営戦略の立案など

信頼

患者、地域住民/資源からの信頼
+ 組織内での相互信頼

事例から4つのファクターの重要性を探る

事例名：済生会熊本病院の組織変革～医療の質と経営効率の両立～

2010年に書かれた神戸大学ビジネススクールの病院ケース

- ・ 実在の民間病院の組織変革にあたって、どんな課題が意識され、どのような目標が立てられたか？
- ・ 変革を促した決定的要因は何だったか？
- ・ 病院組織の変革を考える際に注意すべき点は何か？

事例検討の方法

- ①まず事例を読んで、内容を十分把握する（各自）
- ②次に以下の点について整理する（グループ）
 - (1) 済生会熊本病院はなぜ組織改革が必要だったのか**
 - (2) 組織改革の具体的なターゲットは何か、またゴールは何だったのか**
 - (3) 組織改革を推進するうえでカギとなった人、モノ、情報は何か**
 - (4) 改革の結果、病院経営の4つの柱はどうなったのか**
 - (5) その他、済生会熊本病院の組織改革における特徴的なことからは何か**

グループの作り方

①学籍番号の**最後の数字**により以下のようにグループ分け

0、1	⇒	1G
2、3	⇒	2G
4、5	⇒	3G
6、7	⇒	4G
8、9	⇒	5G

②各グループ内で人数に応じて**3~5人のサブグループ**を作成
(分かれた結果が7人以下の場合はサブグループ不要)して
上記議論を進める



③議論の最終的な結果は、**グループ**として集約

④グループの代表が口頭で発表